

作成日:2023年6月4日

学校法人 滋慶学園 東京メディカル・スポーツ専門学校

2024年度 学校関係者評価委員会議事録

議事録作成者:藤田 直人

1. 開催日時 2024年6月4日(火) 10:30~12:00

2. 開催場所 東京メディカル・スポーツ専門学校 校長会議室

3. 参加者 学校関係者評価委員(Zoom 併用開催)

委員長 牛込 公一 卒業生代表(一般社団法人パラフェンシング 理事)
高井 豊 業界関係者(医療法人社団森山会リハビリテーション統括部長)(Zoom 参加)
和田 清香 保護者代表(理学療法士科 I 部科 2 年在籍)
森 章 高校関係者(拓殖大学紅陵高等学校 校長)
沼倉 英理 近隣関係者(行船管理有限会社 社長)
石井 哲平 業界関係者(ムーヴアクション株式会社 代表取締役)
藤野 浩一郎 業界関係者(TMG 本部 人財開発センターセンター長)欠席

学校側参加者

関口 正雄 東京メディカル・スポーツ専門学校 学校長
岩村 勇 滋慶学園 運営本部長
藤本 拓也 東京メディカル・スポーツ専門学校 事務局長
西田 茂男 東京メディカル・スポーツ専門学校 教務部長
藤田 直人 東京メディカル・スポーツ専門学校 学生サービス・キャリアセンター長
飯島 周一 東京メディカル・スポーツ専門学校 広報センター長
小関 孝男 東京メディカル・スポーツ専門学校 柔道整復師科学科長
進藤 千里 東京メディカル・スポーツ専門学校 鍼灸師学科長
谷口 豪 東京メディカル・スポーツ専門学校 理学療法士科 I 部学科長
鳥海 崇 東京メディカル・スポーツ専門学校 治療院院長

4. 会議の概要

- (1) 委員紹介
- (2) 学校長挨拶
- (3) 2023 年度自己点検・自己評価結果報告
及び 2024 年度重点目標の説明
- (4) 質疑応答

(1)委員紹介 各委員の紹介を行う

(2)学校長挨拶

本日はお忙しい中、本校の学校関係者評価委員会にご出席いただきましてありがとうございます。

また日頃の様々な角度でご支援いただきまして大変感謝しております。何度かお話しておりますが、専門学校の制度的な改革があり少しお話しします。1つは私立学校法の改正です。焦点となりますのは、理事と評議員の兼務ができなくなります。評議員の独立性を高めて、理事・理事長の専横を許さないという観点から監視的な意味合いで、評議委員の権限を強くすることに主眼があります。滋慶学園も法人が多くありますので、このことに対しても対処していきたいと思えます。また修学支援制度について、追加の支援枠ができました。概ね年収 600 万円以内で多子世帯が対象で、すべての子供が修学していること、理科系の学科であることが条件となり授業料の1/4減免されることとなります。少子化対策の一環ですが、まだまだ本当に必要な世帯向けにはなっておりませんが、少しずつこの制度も改善されつつあると思えます。また学校教育法についても制度の改革があります。専門学校については、時間制から単位制に変わります。TMS は、すでに単位制になっております。それから在籍者の呼び方について「生徒」から「学生」になります。心理的には大きなことです。またすでにTMSは第三者評価を受審しておりますが、これについても努力義務化されることとなります。おそらくこの数年のうちに職業実践専門課程を有する学科を持つ学校は、義務化されることが見えています。職業実践専門課程では、学校関係者評価委員会の開催が義務化されています。その委員会では、学校が実施した自己点検自己評価を、委員の皆様はその評価表を見ていただき完成させる意味合いのものです。第三者評価は、独自の評価基準と評価者を持った独立した評価団体でその第三者評価団体が作った基準に基づいてそれぞれの学校を自分たちで評価し、報告をさせてその団体が最終評価するという全くの独立した外部評価になります。大学では、認証評価として義務化されています。その流れが専門学校にも来ていてその第一段階として自己評価が努力義務化とされるものです。令和8年4月からになりますが、より専門学校に対して厳しいコンプライアンスが求められ、世の中に対して評価してもらい公開していくことが求められます。専門学校の1番の評価は、卒業生の活躍だと思えます。いかに活躍し、世の中に貢献しているかということが長いスパンで見て、学校評価につながると思えます。それに加え、大学のアカデミックの教育と比べ職業教育は低く見られているという定着した感覚がありますので、制度的に高等教育機関としての位置付けを図っていくとともに、現実的に専門学校の卒業生が専門的な知識や技術を持って活躍していることを感じ取ってもらうことが大事です。そのためには、学校が教育をきちんとして高い学習成果を達成できるようにあらゆる分野で高度化を目指していくことが必要です。新卒の高校生ばかりでなく、社会人で学び直しを希望する方や優秀な留学生在が母国に帰って活躍することも重要です。専門学校も制度的に後押しされている状況でもありますので、一段と頑張らねばならないと思えます。それでは、委員の方々の忌憚のないご意見をよろしく願います。

(3)2023年度自己評価内容と2024年度重点目標説明

(藤本) 2023年11月より事務局長として着任しております。よろしくお願いいたします。

・学校概要の説明 学校の設立、学科、組織目的の紹介

●2023年度重点目標

【運営目標】

1. 医療×スポーツのイノベーション・・・▲

スポーツの学びの充実、実践の現場を今後も増やす必要があると考える

2. DXの推進 DXを活用した学習者中心の学び・・・▲

教育と業務のDXを進めているが、まだ過渡期であるとする

3. TSRと連携し、医療・スポーツ業界との産学連携・・・○

月1回の会議、学生の情報交換も細かくできた

【2023年度数値目標】

・中途退学者数 29名(4.4%) 結果 ⇒ 46名(6.9%) 未達成

・入学者数 200名 結果 ⇒ 174名 未達成

・1年生進級率 92.0% 結果 ⇒ 86.1% 未達成

退学の要因は、学習意欲の低下、クラスの間関係等が主要因であった

また最終学年でも退学者が出てしまい、次年度の課題とする

【2023年度 学習成果(資格取得)】

資格	学科	合格率	全国平均
柔道整復師	柔道整復師科	86.0%	84.0%
はり師	鍼灸師科	85.7%	85.8%
きゅう師	鍼灸師科	85.7%	86.2%
理学療法士	理学療法士科Ⅰ部	75.8%	95.2%
	理学療法士科Ⅱ部	100.0%	

安定した合格率が保てるようにシステム化することが課題としている

【2024年度 入学者状況】

	入学定員	入学者	定員充足率
柔道整復師科午前	60	21	35%
柔道整復師科午後	30	18	60%
鍼灸師科午前	30	32	107%
鍼灸師科午後	30	34	114%
理学療法士科Ⅰ部	40	41	103%
理学療法士科Ⅱ部	40	28	70%

柔道整復師科、理学療法士科Ⅱ部に課題がある

【2023年度 学習成果(中途退学率)】

年度	在校生数	退学者数	退学率	目標退学率
2023年度	666名	46名	6.9%	4.4%
2022年度	694名	37名	5.3%	5.3%

常に5%台を目指し、最終的には3%台を目指したい

【2023年度 学習成果(就職)】

卒業生数	171名		
就職希望者数	142名	就職希望率 83%	
内定者数	142名	内定率100%	就職者率83%

就職を希望しない理由は、進学・国試不合格者が多く、合格率に左右される

【2024年度 学校コンセプト】

「医療」×「スポーツ」⇒スポーツを全ての起点に

教育・就職・広報・国家試験の課題、問題を解決していく

入学時の夢を継続できるようにポイントでスポーツの学びを入れ年間を通してスポーツに関われる現場を創出し、学生の満足度や目的、目標を忘れないようにして、モチベーションを維持し、就職についてもスポーツに関われるような就職をさせ実績を積み重ね広報にもつなげていきたい

【2024年度重点目標】

(運営方針)

1. 産学連携によるトレーナー現場の創出
2. 学科商品力強化のための実績の蓄積
3. 新学科(専攻)・新規事業のイノベーション

【2023年度 自己点検評価内容】

(西田) それでは、お配りしている自己点検自己評価を基にお話させていただきます。項目が多いので、特徴的な部分と評価2をつけている項目についてお話させていただきます。

- 「医療×スポーツ」特色ある教育活動、将来構想(医療×スポーツの実現する5つの学び)(小関)
 - ・「ATメディカルプラン」 AT専攻・・・医療資格に加え AT 資格取得をも目指す本格的なプラン
 - ・「メディカルスポーツゼミ」 スポーツトレーナー学習・・・トレーナーの基礎を実技形式で学ぶ
 - ・「Wライセンス」 鍼灸×柔整 TSRダブルスクール・・・将来的な活躍の幅を広げる
 - ・「エクステンション講座」 特別授業・・・土日開講で卒業生や業界講師による学科を超えた学びができる
 - ・「エクステンション講座プラス」 卒業後の技術向上・・・卒業生向けのスキルアップ講座
- 学校運営 特徴 DX 化 業務の効率化(進藤)
 - ・各種プラットフォーム活用し情報共有を随時可能に
サイボウズ Garoon/BOX・・・職員間の情報共有

Microsoft365/Teams・・・職員と学生(授業)

迅速な情報共有とリスク管理を両立している

・業務システム(学園独自のシステム 広報・教育・就職の情報を管理)

【教育活動】

課題 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか(3-10-2)

外部活動の発表などアウトプットができていない

資格・免許取得の指導体制はあるか(3-11-2)

指導体制としてはあるが、成果がでていない

特徴 教員の資の向上への取り組みを行っているか(3-12-2)

学園グループ独自で体系立てた研修を行っている(階層別)

コンプライアンス研修も取り入れている

【学習成果】

課題 資格・免許の取得率の向上が図られているか(4-14-1)

卒業生の社会的評価を把握しているか(4-15-1)

卒後5年以降の把握があまりできていない

特徴 Monoxer(モノグサ)アプリの活用(谷口)

クラス作りを根幹に行っている

学習計画をアプリが作る⇒進捗率が表示

学習ログデータの利活用(学習の回数を双方で確認できる)⇒学習支援が明確に

【学習支援】

課題 退学率の低減が図られているか(5-17-1)

理由の多重化 成績不良、クラス不適應など

3、4年生でできるなどコロナの影響ではないか。人との関わりがうまくできない

特徴 退学率の低減が図られているか(5-17-1)

保護者連携を強化している

出席状況も保護者が見られるシステム導入

【2024年度 学生募集の状況】(飯鳶)

学科・コース	定員	実績	昨年	対定員	対昨年
柔道整復師科午前	60	21	47	-39	-26
柔道整復師科午後	30	18	16	-12	-2
鍼灸師科午前	30	32	29	+2	+3
鍼灸師科午後	30	34	25	+4	+9
理学療法士科Ⅰ部	40	41	44	+1	-3
理学療法士科Ⅱ部	40	28	36	-12	-8
合計	230	174	197	-56	-23

医療資格の希望者は全体で減っている⇒分野の低迷、18歳人口の減少

特徴を出して発信していくことが重要⇒スポーツ現場での学びの見える化

【社会貢献】

課題 国際交流に取り組んでいるか

コロナの影響により海外研修が中止になってしまっている

今年度から海外研修を実施する予定である

(牛込) これらの内容についてご質問などがありましたらお願いします。

(和田) テストの回答を返してもらえないことがあった。希望者だけでもいいので返してほしい。

(谷口) 一部の講師で返却しない方がいたようだ。大学では返却していないということだが、学習の習熟が一番なので返却するようしてもらっている。

(関口) 個別対応だけでなく学校のルールとして返却するようにしてください。

(森) 学校長や理事長の入学式などの話は、この学校がどんな考えで運営しているかなどを伝える場で、あまり保護者との連携にはならないと思う。別に場を設けて直接保護者の方と話を聞いた方がいいのではないか。また通学者でどのあたりから来る学生が多いですか。また部活は何をやっていた学生が多いですか。

(飯舘) 千葉からが60名程度、東京からが50名位であと埼玉、神奈川、茨城あたりになります。

また部活動はサッカーやバスケがおおいです。

(森) 球技をやっていた学生は、いろいろな職種を選ぶが、柔道や弓道、相撲など武道をやっていた学生は柔道整復師や鍼灸師を選ぶことが多い。学校案内などに写真などが無い。もう少し幅広く告知をしてはどうか。

(飯舘) チャレンジカップなどを行っているが、今年度の学校案内には載せていない。

(関口) 私も年何回か保護者会に出ています。学科の職員が個別対応で、お話を伺っている。学生が直接担任などに話をできないことなどあれば、その時に聞き取りできるようにしたい。

(沼倉) ゲームアプリなどで30秒CMなどを流しているが、TSMの広告を見たことがある。調べるのではなく出す方の宣伝などはしないのか。

(飯舘) 検索履歴などにより広告を出すことはあります。年齢などをセグメントしたりもしている。

(沼倉) 夜間などもあるので年齢を広げたり、女性を対象にするなどしても良いと思う。

(関口) 夜間は既卒者が多いだろうが、データの的にはありますか。

(飯舘) 昨年の入学者174名のうち40名程度が既卒者になる。そのうち第二新卒と言われる例えばTSR卒業の方が25名いる。Ⅱ部は28名いるが、20名が新卒高校生である。

(関口) いわゆる14校時代は、接骨院で見習いで仕事をしている人を入学させ資格を取らせていた。本校は高校生中心に広報展開をして成果を上げた。そのことが世間に対してアピールしてもいいのではないかと思う。

(石井) モノグサアプリなどが参考になった。弊社でも国家試験に落ちたアルバイト採用もしているが、働きながら学習をすることが課題で中々習慣化できない現実がある。

(岩村) お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。まだまだ課題も多い中で、事業計画を立てて学校運営し、発展させていくために皆さまのご意見を反映させながら進んでいきたいと思っております。本日

はありがとうございました。

(西田)評価表ですが、23日までに送っていただければと思います。この後校舎の見学を行いたいと思います。

(飯沼)パワーポイントのデータをいただきたい。

(牛込)それでは以上を持ちまして委員会を終了いたします。